

解説 現場のサポート

品質マニュアルに基づく現場情報の共有化 施工計画書と施工検討会議議事録を合体し 品質計画を実現



よねだ まさとし
米田 雅俊
大林道路(株)
関東支店

1 はじめに

施工現場において、“トラブル”は必ずと言って大小問わず発生しています。いざ、トラブルが発生すれば私どもの会社においても、所属する事務所、その上の支店へ報告が行くことになっております。その対応は勿論、現場担当者を中心に会社組織がその部門毎に対応して、解決へと導いていただいています。このようなことは、どこの会社においてもなされていることと思いますが、今回、当社における“トラブルを発生させないための施策”についてご説明いたします。

2 現場支援の位置づけと施策

当社は、ISO9001を取得した折に、品質マニュアルができ当社が行う業務において下記に示す2つの目的のため品質マネジメントシステムを構築されました。

(1) 顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を満たした構造物及び製品（舗装材料）を一貫して提供する能力をもつことを実証するため。

(2) 品質マネジメントシステムの継続的改善を含む効果的な適用、並びに顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項への適合の保証を通して、顧客満足の向上を目指すため。

この目的のため、品質マニュアルにより、「土木構造物の設計・施工、及び舗装材料の設計・製造並びに当社の活動プロセス」に適用されることとなっております。

このマニュアルに用いる品質マネジメントシステムに関連する用語として、当社において慣用的に用いる用語を定義している。主なものを下記の通り。

- ①要領書：本マニュアルに基づき、ある活動を実施するための詳細な手順・方法を記述した文書をいう。
- ②運用文書：本マニュアル及び要領書に基づいて、各業務を遂行する際の引用文書及び標準様式をいう。（各種計画書、基準文書等）
- ③契約図書：運用文書の内工事請負契約書（契約約款を含む。）及び設計図書をいう。設計図書は、特記仕様書、図面（設計図及び設計図のもととなる設計計算書）、共通仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質

問回答書をいう。

- ④発注者：工事請負契約に基づいて工事を注文する顧客をいう。
 - ⑤協力会社：当社と下請負契約等を締結し、当社に労務・材料・機材の供給を行う供給者をいう。
 - ⑥部門：部門は次のとおりとする図-1参照。
 - ⑦部署：室、部、営業所、直轄工事事務所、及びアスファルト混合所。部署長はそれぞれの長とする。
 - ⑧営業所長：支店の下で、特定地域の営業・工事を統括する組織の長をいう。
 - ⑨工事長：営業所長の命を受け、営業所管内の工事及び現場責任者の総括管理を行う者をいう。
 - ⑩現場責任者：営業所長又は直轄所長の命を受け、営業所管内の工事又は直轄工事下で、当該工事を担当する現場の責任者をいう。
 - ⑪現場担当者：現場責任者の下で、業務を遂行する者をいう。当該工事の規模、工期によっては現場責任者が兼務する。
- これにより、社内の品質マネジメントシステムに必要なプロセス及びそれらへの組織への適用が明確となりました。現場における事項についてもこの

システムに準じて対応することになります。特定したプロセスの順序及び相互関係を図-2に示す。

3 現場情報の共有化

前記で述べました品質マネジメントシステムに準じて、現場におきましては、工事毎の発注者の要求品質を満足する工事を設計図書に基づいて所定の工期内に適正な費用で安全に完成させる計画を作成することを目的とした“施工計画要領書”作成いたします。また、この施工計画書と施工検討会議事録を合体させて、下記項目を確実に実施し、品質計画書としております。

品質目標：現場毎の品質目標

環境目標：現場毎の環境目標

工 程：安全衛生管理計画表

材料、労務、機械：予算書

資 格 者：安全衛生管理計画表

文 書：支店等で定める文書

(実施工程等)

検 証：工事日報及び安全衛生日誌

検査記録：工事日報及び安全衛生日誌

合否判定基準：外部文書（仕様書等）

記 録：様式等は支店等にて決め、

外部、社内管理値を記載

(出来形、品質管理等)

環境法規制の特定：工事日報及び安全衛生日誌

施工検討会は、工事着手前及び工事中、必要に応じて開催され、工事内容、顧客要求事項への対応、予防処置、コスト、VE等の検討をする会議であり、出席者は原則として所長及び現場責任者に支店の専門部門も参加する。重大な不適合が発生した場合にその是正処置についても検討する場合があります。

4 推進工事の事例

今回、当社における“トラブルを発

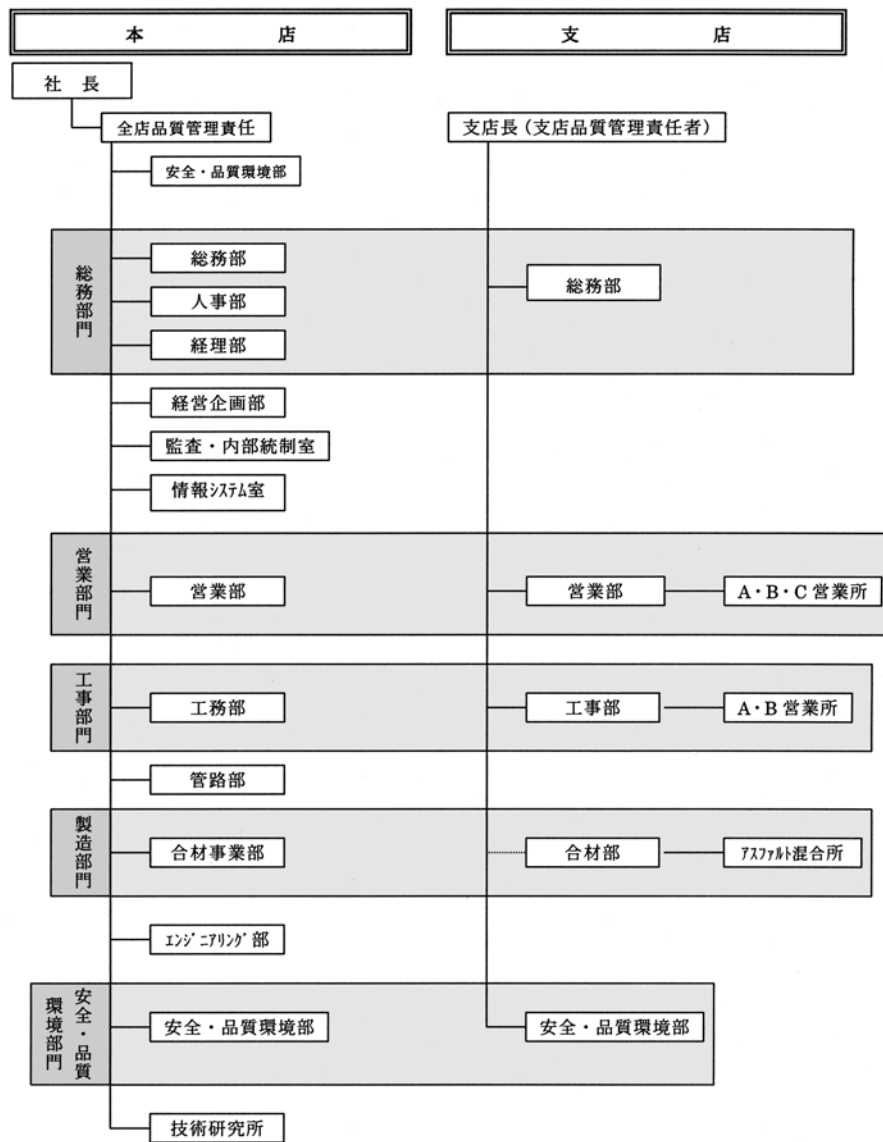


図-1 部門一覧図

生させないための施策”として、品質マネジメントシステムに則した、事例を紹介いたします。

4.1 工事概要

呼び径：2600

延長：L = 144.10m

施工方式：泥土圧式

土質：砂質土 N値 10以下

地下水位：G.L. - 1.5m付近

土被り：2.8m程度

その他：近接地下埋設等は、無

4.2 施工時の留意事項

施工に際し、推進工法としての4つ

の留意事項項目を挙げ、協力会社と協議を繰り返し行い、施工に臨むことにした。

- ・推進管敷設精度の確保
- ・切羽の崩壊対策
- ・地表面の変状
- ・ローリング・ピッチングの防止対策

上記の項目を、重点的に管理したことが出来形に反映されたようでローリング・ピッチングも防止でき、施工精度、切羽の崩壊もなく地表面の変状も表れず無事到達することができた。今回の施工検討会議事録図-3に示す。